

4. 川岸学園整備室

令和6年4月、「川岸学園構想」（令和5年度策定）の推進を目的として教育委員会に設置した組織である。

（1）事業目的

少子化が進む社会に適応した「魅力と活力ある学校づくり」を推進するため、「川岸学園構想」に基づき、川岸小学校の長寿命化大規模改修にあわせて、切れ目ない一貫した教育を行う「施設一体型義務教育学校」への移行を進めるとともに、岡谷市保育園整備計画中期計画に基づき、校地内に公立幼保連携型認定こども園を併設し、異年齢の子どもたちがつながる「新たな学び舎」の創出を図る。

（2）令和7年度の取組

○ハード面の整備

施設整備を推進するため、全3工期のうち第1期・第2期工事に着手した。

- ・第1期工事：仮設校舎の建設及び既存校舎の解体
- ・第2期工事：長寿命化大規模改修及び接続棟建設

○ソフト面の検討

開校・開園に向けた諸準備を推進するため、川岸学園設立準備委員会及び各専門部会を開催した。

①川岸学園設立準備委員会（3回開催）

認定こども園の開園時期・名称に係る基本方針等の重要事項を報告するとともに、各専門部会の検討状況について協議・調整を行った。

②各専門部会の開催

義務教育学校グランドデザイン（案）の策定、制服・校名・園名の検討など、開校・開園に向けた諸課題について協議した。

- ・学校デザイン部会（4回）、学校生活部会（3回）、総務部会（5回）
- ・地域コミュニティ・PTA部会（9回）、施設部会（2回）、こども園部会（6回）

③認定こども園の開園時期

令和7年9月に川岸・成田両保育園の保護者懇談会及び子ども・子育て支援審議会の意見を踏まえ、開園時期を令和10年4月とすることを決定した。

④義務教育学校及び認定こども園の名称検討

令和7年12月に両施設の総称名を「川岸学園」とする方針を決定し、校名及び園名の公募を実施した。

（3）令和8年度の取組

- ・第1期工事（既存校舎解体）の実施
- ・第2期工事（大規模改修・接続棟新築・校舎一部解体等）の実施
- ・川岸学園設立準備委員会及び専門部会の開催
- ・校名及び園名の決定
- ・義務教育学校関係条例の一部改正及び開校手続き など